

2019年11月15～14日

桜を見る会、政局、大嘗祭

菅官房長官、予算計上の問題認める 「桜を見る会」経費

時事通信 2019年11月14日18時34分

菅義偉官房長官は14日の記者会見で、「桜を見る会」の関連経費について、過去の予算計上に問題があったとの認識を示した。菅氏は「準備設営に最低限必要となる経費を前提に計上してきたが、2020年度の概算要求で変えた」と述べた。

関連経費として、14～19年度まで毎年同額の1766万6000円を計上してきた。一方、支出は14年度が3005万3000円、15年度が3841万7000円と年々増加。18年度は5229万円に上り、予算計上が過少だったと指摘されていた。

桜を見る会夕食会、最低1万円超 立憲「ホテルに確認」

時事通信 2019年11月14日13時41分

立憲民主党の安住淳国対委員長は14日昼の野党共同会派会合で、安倍晋三首相の後援会が首相主催「桜を見る会」の夕食会の会費を5000円に設定したとされることに、立憲が会場となった東京都内のホテルに確認したところ「だいたい1万5000円から2万円。立食で150人の場合は1万1000円」と回答されたと明らかにした。

安住氏は「5000円はあり得ない」と語った。首相側が不足分を負担していた場合、公職選挙法に抵触する可能性がある。

桜を見る会夕食会は「最低1万円超」 立憲、差額追及へ

朝日新聞デジタル 安倍龍太郎 2019年11月14日20時07分

桜を見る会の前日に、東京都内の高級ホテルで開かれた安倍晋三首相夫妻同席の夕食会の会費が5千円だったことについて、立憲民主党の安住淳国会对策委員長は14日、記者団に「当該ホテルに確認をしたが、立食の会食はどなたであっても最低1万1千円以上からやらせてもらっているとのことだ」と語った。

安住氏は「なぜ5千円でできて、その差額はどうしたのかということとは非常に大きな山だ」と今後追及していく構えを見せた。野党は同日、追及チームの人数を増やすことを決めた。

一方、菅義偉官房長官は14日…

残り：369文字／全文：595文字

桜を見る会、野党は夕食会費追及 政府は参加者半減検討

2019/11/14 21:45 (JST) 11/14 22:05 (JST) updated 共同通信社



「桜を見る会」を巡る追及チーム

の会合で省庁側出席者（手前）から聞き取りする野党議員ら＝14日午後、国会

野党は14日、安倍晋三首相主催の「桜を見る会」前日に東京

都内で開かれた首相後援会「前夜祭」に関し、夕食会の会費5千円が安すぎると追及した。費用の差額分を首相側が「補填」していた可能性もあるとして公選法違反などを視野に置く。2017年の「安倍晋三後援会」の政治資金収支報告書には「前夜祭」の収支に関する記載はなかった。菅義偉官房長官は疑わしいことはないと反論。政府は、桜を見る会について再来年以降の参加者数を半減させる方向で検討に入った。

「ブーメラン」恐れず攻勢 桜を見る会、民主党政権も開催

時事通信 2019年11月14日07時15分

立憲民主党など主要野党は、首相主催の「桜を見る会」について、引き続き追及する方針だ。民主党政権下でも開催され、批判が「ブーメラン」となって返ってくる可能性もあるが、安倍政権に打撃を与える好機とみているためだ。

民主党政権では、当時の鳩山由紀夫首相が2010年4月に開催。政財界や芸能界から約1万人が出席し、首相動静には「地元の後援会関係者らと記念撮影」と記されている。11、12年は東日本大震災などを理由に見送られた。

国民民主党の玉木雄一郎代表は13日の記者会見で、当時の招待客選定に関し、「各議員4人の推薦枠があった。民主党政権も含め、基準が曖昧なところがあるのも事実だ」と語った。このため、同党内には「絶対にブーメランになる」（参院幹部）との懸念もある。

だが、立憲の安住淳国対委員長は共同会派会合で、安倍晋三首相の後援会関係者約850人が参加していたと問題視。「これは後援会活動だ。首相が説明しない限り終わらない」と徹底追及する考えを強調した。政府が招待客リストを廃棄したと説明していることにも反発を強めている。

政府は来年度の開催中止を決めたが、主要野党は追及チームの会合を国会内で開催。立憲の黒岩宇洋座長は「さらに疑惑は深まった。安倍政権の体質が表れている」と指摘。共産党の田村智子副座長は「徹頭徹尾、私物化だ。追及の手を緩めることなく真相をたどっていく」と声を張り上げた。

立民・蓮舫氏「あなた達も桜を見る会に行った、とか。つまらない反応」

産経新聞 2019. 11. 14 20:15

立憲民主党の蓮舫副代表は14日、首相主催の「桜を見る会」をめぐり、自身のツイッターで「あなた達も桜の会を行っていた、とか。出席してたでしょ、とか。つまらない反応です」と発信した。立民の母体である旧民主党も政権時に各議員に「推薦枠」を割り振り、招待者を募っていたとの指摘が念頭にあるとみられる。

蓮舫氏は「安倍総理の桜を見る会の問題は総理の職責、税金を使って安倍晋三衆議院議員の政治活動にしていた疑惑に尽きます」「説明なきまま、中止で幕を閉じようとする政府の姿勢も姑息すぎます」ともつぶやいた。

立民や国民民主、共産などの主要野党は、税金を投入した会が安倍首相や自民党議員に私物化された疑惑があるとして批判を強めている。

J NN2019年11月14日

「桜を見る会」招待者名簿、民主政権時代は公開前提
総理主催の「桜を見る会」をめぐる、政府側が「廃棄した」とする招待者の名簿について、民主党政権時代には公開が前提とされていたことがわかりました。野党側は追及を強める構えです。

民主党の鳩山政権当時、2010年の「桜を見る会」に関する開催要領によりますと、「桜を見る会の名簿提出のお願い」という書類には、招待者について「国民から疑惑を持たれないよう十分考慮して選考するように」との但し書きがあります。また、「桜を見る会の招待について」という書類の最後には、招待者の名簿について「情報公開請求により、今後は名簿全体を公開するということも考えられる」とあります。

安倍政権は「名簿は破棄した」と説明していますが、この資料からは元々は公開されることが前提とされていたことがわかります。このほか、第二次安倍政権以降、招待者の範囲について「その他各界の代表者等」と、鳩山政権当時にはなかった「等(とう)」の文字が加えられており、野党側は今後、一連の経緯などについて追及する構えです。

桜を見る会、来年度中止…政権内「不透明感否めず」野党「ふたをしたと思ったら大間違い」

読売新聞 2019/11/14 07:13



「桜を見る会」で招待客らと記念撮影をする安倍首相（中央）（4月13日、東京都新宿区で）

野党「会を私物化」追及
政府が「桜を見る会」の来年度の中止に踏み切ったのは、招待者の選定基準が曖昧なまま継続すれば、政権への打撃が拡大すると判断したためだ。野党は安倍首相が多数の後援会関係者を招き、会を私物化していたとして、引き続き追及する構えだ。

「様々なご意見があることを踏まえ、政府として招待基準の明確化や招待プロセスの透明化を検討したい」。菅官房長官は13日の記者会見で、開催中止の理由をこう説明した。

問題が浮上したのは、8日の参院予算委員会だった。共産党の田村智子参院議員が「首相は後援会関係者を多数招待しているのではないかと」問いだし、首相は「招待者の取りまとめには関与していない」と釈明した。

桜を見る会の開催要領は皇族や国会議員らに加え、「その他各界の代表者等」を対象としており、「いくらでも拡大解釈が可能だ」（野党幹部）との批判が噴出した。実際、支出額は2014年の約3000万円から19年には約5500万円に、参加者も約1万3700人から約1万8200人に膨らんでいた。

菅官房長官は12日、招待者の選定基準を明確化する考えを表明したが、13日になって中止に踏み込んだ。政府高官は「微修正で強行するよりも、立ち止まってしっかり見直した方がいい」との懸念が強まった。

菅官房長官は12日、招待者の選定基準を明確化する考えを表明したが、13日になって中止に踏み込んだ。政府高官は「微修正で強行するよりも、立ち止まってしっかり見直した方がいい」と

と語った。政府は来春用の費用として20年度予算で約5730万円を要求しており、年末の予算編成前に手当てする事情もあったとみられる。

安倍内閣では、菅原一秀・前経済産業相と河井克行・前法相が政治とカネの問題で更迭された。大学入学共通テストでの英語民間試験の活用も批判を受け、20年度からの実施見送りを決めた。与党内には「長期政権の緩み」（自民党中堅）と指摘する声があり、首相官邸は早期の幕引きを図った。

一方、野党は衆参両院で予算委員会の集中審議を開くよう求めている。立憲民主党の安住淳国会対策委員長は13日、「首相が国会に来て我々の疑問に答えない限り、この話はエンドレスに続く。ふたをしたと思ったら大間違いだ」と記者団に語った。共産党の小池書記局長は、桜を見る会前日に首相の後援会が開いた会合が政治資金収支報告書に記載がないと指摘し、「法に触れるようなことがあれば首相を辞めていただくしかない」と述べた。

野党「追及チーム」増強へ 「私物化」「推薦」「前夜祭」の3点追及

毎日新聞 2019年11月14日 19時59分(最終更新 11月14日 19時59分)



安倍晋三首相主催の「桜を見る会」を巡る問題の野党合同ヒアリングで質疑する議員たち（左列）と内閣府などの担当者たち（右列）＝国会内で2019年11月14日午後4時7分、川田雅浩撮影

（左列）と内閣府などの担当者たち（右列）＝国会内で2019年11月14日午後4時7分、川田雅浩撮影

立憲民主党など野党4党は14日の国対委員長会談で、安倍晋三首相の後援会関係者が「桜を見る会」に多数出席していた疑惑に迫るため、野党合同の追及チームを増強することを決めた。公職選挙法違反の疑いがあるとみる「前夜祭」での飲食代を巡る問題など3点に照準を定め、首相への追及を続ける方針だ。

会談後、立憲の安住淳国対委員長は記者団に、衆参の議員からなる追及チームを現在の11人から3倍にすると表明。安倍政権は「桜を見る会」の来年の開催中止で幕引きを図るが、安住氏は「臭いものに蓋(ふた)をするとの態度は許せない」と強調した。

野党は、追及ポイントを3点に絞る。1点目は、首相が招待基準を満たさない後援会関係者を招いた「会の私物化疑惑」だ。内閣府は招待者名簿は廃棄済みで、招待者は特定できないとしている。野党は「他省庁は同様の文書を10年保管している」と追及し、招待の経緯を明らかにしたい考えだ。

2点目は、首相が8日の参院予算委員会で「私は招待者のとりまとめにあたっていない」と答えたことだ。その後、首相を含む政治家が招待者を推薦していることが判明。共産党の志位和夫委員長は「虚偽答弁だ」と批判する。

3点目は、会の前日に東京都内のホテルで開かれた「前夜祭」を巡る疑惑で、野党は悪質性が最も高いとみている。野党の調査によると、首相の後援会関係者が参加した前夜祭は会費5000円。

だが、このホテルの相場はもっと高い。立憲幹部は「もし差額を首相側が負担していれば、公職選挙法（寄付行為の禁止）に触れかねない」と批判する。

野党は14日の参院内閣委員会で、3点を中心に政府側を追及。ただ、内閣府の担当者は「答える立場にない」と繰り返した。来週は菅義偉官房長官が出席する衆院内閣委員会が開かれるが、安住氏は記者団に「総理本人でなければ答えられない。（内閣委後に）改めて首相出席の衆参の予算委員会を強く申し入れる」と述べた。【野間口陽、宮原健太】

野党4党「桜を見る会」追及チームを「本部」に格上げ

NHK2019年11月14日 17時01分



総理大臣主催の「桜を見る会」について、立憲民主党など野党4党は、追及チームを「本部」に格上げして招待者の基準などについて徹底的に調査するとともに、安倍総理大臣に対して引き続き、国会で説明責任を果たすよう求める方針を確認しました。

総理大臣主催の「桜を見る会」をめぐり、立憲民主党、国民民主党、共産党、社民党の野党4党の国会対策委員長が会談し、今後の対応を協議しました。

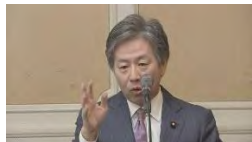
そして、野党側が合同で立ち上げた追及チームの体制を強化して「本部」に格上げし、所属するすべての国会議員に参加を呼びかけることを決めました。

本部では、招待者の基準のほか、安倍総理大臣の地元の事務所の役割や、前日夜に東京都内で開かれていた後援会の懇親会の会計処理などについて、それぞれチームを設けて徹底的に調査し、現地への視察なども検討するとしています。

さらに会談では、安倍総理大臣から直接説明を聞く必要があるとして、引き続き、衆参両院の予算委員会で集中審議を行うよう求める方針を確認しました。

立憲民主党の安住国会対策委員長は記者団に対し「安倍総理大臣が、自身の判断でやめたと行って臭いものにふたをするという態度が許せない。地元の事務所が関与したことは明らかで、国会での説明責任を果たすべきだ」と述べました。

立民 安住国対委員長「会費5000円はありえない」



また安住国会対策委員長は、会派の代議士会で「予算委員会の安倍総理大臣の答弁にはかなりのうそがあり、これをつまびらかにする必要がある」と述べました。

そのうえで安住氏は、会の前夜に東京都内のホテルで開かれた安倍総理大臣の後援会の懇親会について「会費は5000円とのことだが、ホテルに確認したところ最低でも1万1000円からだ」と文書で回答をいただいた。5000円はやはりありえない」と述べ、会計処理などについて追及を強める考えを示しました。

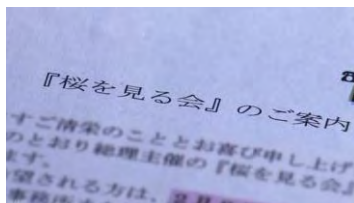
共産 志位委員長「中止は非を認めたということ」



共産党の志位委員長は記者会見で「中止で幕引きにはしてはならない。中止は非を認めたということであり、安倍総理大臣出席のもとで速やかに衆・参両院で予算委員会を開き真相を明らかにすべきだ。うそで切り抜けることがまかり通れば、まともな国会審議はできなくなる。説明を拒否するか、できない場合には総理大臣を辞めるしかない」と述べました。

「桜を見る会」政府 見直して収束を 野党 懇親会など徹底追及

NHK11月15日 5時11分



総理大臣主催の「桜を見る会」をめぐって、政府は、招待基準の明確化など見直しを進めることで、事態の収束を図りたい考えです。これに対し野党側は、前日の夜に開かれた安倍総理大臣の後援会の懇親会についても追及を強めていて、国会で説明責任を果たすよう引き続き、求めていく方針です。

総理大臣主催の「桜を見る会」をめぐり、野党側は、年々参加者や支出額が増えているうえ、安倍総理大臣の後援会から多くの人が招待されているとして「公的行事の私物化だ」などと追及して、政府は、来年の開催を中止することにしました。

菅官房長官は14日、これまでの予算計上の在り方に問題があったという認識を示す一方、「内閣の公的行事であり、現時点で廃止することは考えていない」と述べました。

政府としては、招待基準の明確化などにより予算や招待者の削減も含め、見直しを進めることで、事態の収束を図りたい考えです。これに対し野党側は、前日の夜に東京都内のホテルで開かれた安倍総理大臣の後援会の懇親会の会計処理についても、追及することになっています。

立憲民主党の安住国会対策委員長は「臭いものにふたをする態度が許せない。安倍総理大臣の地元の事務所が関与したことは明らかだ」と述べていて、安倍総理大臣に対し、国会で説明責任を果たすよう引き続き、求めていく方針です。

「桜を見る会」動画に「招待枠」などの会話 安倍首相と世耕氏

NHK11月14日 21時54分



総理大臣官邸のホームページで公開されている2年前の「桜を見る会」の動画には、安倍総理大臣と世耕参議院幹事長が会話の中



「桜を見る会」追及

チームの会合で、内閣府や総務省の担当者ら（手前）からヒアリングする野党議員ら（奥）。中央は共産党の田村智子氏＝2019年11月14日午後、国会内、岩下毅撮影

「桜を見る会」に出席した安倍晋三首相の地元関係者について菅義偉官房長官は14日午前の記者会見で、「名簿については、会の終了をもって、遅滞なく廃棄していることから、内訳を答えることは困難だ」と述べた。しかし、名簿がなければ、桜を見る会への招待が適正になされていたのかを検証することが難しくなる。公文書管理のあり方が改めて問われている。

管理が問題になっている名簿には、各省庁がつくった「推薦名簿」と、内閣官房と内閣府が推薦名簿から取りまとめた「招待名簿」がある。いずれの名簿も保存期間は各省庁が文書管理規則を定めて管理。内閣府の場合は、2018年4月から保存期間を「1年」から「1年未満」に変えた。担当者は14日の野党の会合で今年の紙の名簿は5月9日に廃棄したことを明らかにした。

14日の参院内閣委員会では、…
残り：369文字／全文：710文字

自民・石破元幹事長が「桜を見る会」招待客名簿の保存を訴え 産経新聞 2019. 11. 14 16:03

自民党の石破茂元幹事長は14日、石破派（水月会）の会合で、首相主催の「桜を見る会」について「地域で頑張っている人に首相が『ありがとう』という機会を公平に確保するには名簿をちゃんと残しておかないといけない」と述べ、招待客の重複を避けるため、歴代の招待客名簿の保存を訴えた。

安倍晋三首相が来年度の中止を決めたことに関しては「（桜を見る会が）本来の趣旨に従った運営が大事で、やめればいいという話ではない」と語った。

小泉環境相「出席したことない」 桜を見る会 産経新聞 2019. 11. 14 11:30

小泉進次郎環境相は14日の参院環境委員会で、首相主催の「桜を見る会」について「私自身は一度も出席したことはない。いろいろ考えて参加しなかった」と述べた。自身の後援会関係者の出席は「現場にいなかったので具体的には差し控える。中にはいたかもしれない」と話した。

環境省が過去に作成、提出した推薦者名簿は「公文書管理のルールに基づき、適切に保管している」と説明した。

立憲民主党の宮沢由佳氏への答弁。

桜を見る会 内閣府「招待者名簿は5月9日に廃棄」 NHK 2019年11月14日 20時48分

で、「招待枠」ということばや、世耕氏の地元の支持団体とみられる名前をやり取りする様子が記録されています。世耕氏の事務所は、地元に貢献したとして、支持団体の人を推薦したことはあるとしています。

総理大臣官邸のホームページには、平成29年4月、1万6000人余りが参加して東京の新宿御苑で開かれた、「桜を見る会」の動画が公開されています。

この中で、安倍総理大臣が、近くにいた世耕氏に、「ひまわり会？」と尋ねると、世耕氏が、「ひまわり会です。ことしは副長官じゃなくなったので招待枠で」と答える会話が記録されています。世耕氏は、この桜を見る会の前の年まで内閣官房副長官を務め、当時は経済産業大臣でした。また、世耕氏の地元の和歌山市には、「ひまわり」という名前の女性の支持団体があります。

世耕氏の事務所は、NHKの取材に対し、『ひまわり』の人を推薦したことはあるが、記録に残っていないので、いつ推薦したのかはわからない。推薦したのは、地元でボランティア活動をしたり、自治会婦人部の活動をしたりと、地元貢献した人で、基本的には事務所と地元の後援会などが相談して厳選して推薦している」と話しています。

自民・石破氏、「桜を見る会」名簿保存を

時事通信 2019年11月14日 14時51分

自民党の石破茂元幹事長は14日の石破派例会で、政府が「桜を見る会」招待者名簿を廃棄したと説明していることについて、「どうすれば公正性が確保されるのか。やはり名簿はちゃんと残しておかなければいけない」と述べ、保存が必要と訴えた。

来年度の開催中止に関しては「やめればそれでいいという話ではない。より公正にということを心掛けていかなければならない」と語った。

招待客名簿保存を一石破氏 桜を見る会で

2019/11/14 13:47 (JST)共同通信社



自民党の石破茂元幹事長

自民党の石破茂元幹事長は14日の石破派会合で、首相主催の「桜を見る会」に関し、政府は過去の招待客名簿を保存すべきだと訴えた。「地域に貢献した人に感謝する機会をどう確保するか。名簿は残しておかなければいけない」と指摘した。

来年の開催中止決定については「やめればそれでいいという話ではない」と語り、招待基準の明確化を求めた。

石原伸晃元経済再生担当相は派閥会合で、桜を見る会での対応が「長期政権の緩み」と批判される状況を念頭に「周りがイエスマンばかりだと政権は没落する」と述べた。

桜を見る会名簿廃棄、石破氏も批判「残しておかなきゃ」



総理大臣主催の「桜を見る会」をめぐり、野党側の追及チームの会合が14日も開かれ、内閣府の担当者は、ことしの招待者名簿などを、5月9日に廃棄したと明らかにしました。

14日で3日連続の開催となった、「桜を見る会」の追及チームの会合で、出席した議員からは、4月13日に開かれたことしの会の招待者名簿などを廃棄した時期をただず質問が相次ぎ、内閣府の担当者は、紙の資料は5月9日に廃棄したと明らかにしました。共産党の議員は、「この問題を国会で取り上げるために、5月9日は、質問の準備で、内閣府に聞き取りを始めたタイミングだ。なぜそのタイミングなのか」と指摘しました。また、ほかの議員からは、「なぜ1か月近く保存していたものを、その時期に廃棄したのか」などという声が出され、内閣府の担当者は、「例年、同じ時期に捨てている」と説明しました。

「徹底的に洗う」 野党、桜を見る会追及チームを3倍に拡充
産経新聞 2019. 11. 14 20:19

首相主催の「桜を見る会」をめぐり、野党各党は14日も国会内で「追及チーム」会合を開き、安倍晋三首相への批判を強めた。今後、追及チームを「追及本部」に格上げし、参加議員も増やして首相を追い込む考えだ。会の運営方法をめぐっては、与党内からも透明性の確保が必要との指摘が相次いだ。

「一部メディアは『収束に向かっている』というが、始まりはこれからだ」

立憲民主党の安住淳国対委員長は14日、野党統一会派の代議士会でこう語り、追及チームを現在の11人から「3倍規模」の追及本部に拡充する方針を示した。

安住氏は、田中角栄元首相を退陣に追い込んだロッキード事件にも言及し「山口（県）ルート、宴会ルート、役所ルート、芸能界ルート。徹底的に洗って質疑に反映させていく」と氣勢を上げた。

野党は4月13日の「桜を見る会」に首相の後援会関係者が多数参加し、東京都内のホテルで首相夫妻を囲む「前夜祭」が開かれたとして問題視している。

追及チームによると、前夜祭の会費は5千円だったが、同ホテルの一般客向けの宴会コースは最低で1人当たり1万1千円かかるという。野党側は、差額を首相側が補（ほ）填（てん）していれば、公職選挙法で禁じる寄付行為などに該当すると指摘する。さらに会費が首相関連の政治団体の収支報告書に記載がないとして、政治資金規正法違反の疑いもあると主張する。

14日の参院内閣委員会では、政府側が招待者について「長年の慣例で官邸や与党内にも推薦を依頼し、内閣官房と内閣府で取りまとめた」と説明。同日の追及チーム会合では、野党側が招待者名簿の開示を迫り、省庁側は「政府として統一的に対応したい」と回答を留保した。

自民党からも発言が相次いだ。茂木敏充外相は所属する竹下派（平成研究会）の会合で「基準をしっかり見直すことが必要だ」

と指摘した。石破茂元幹事長も石破派（水月会）会合で「本来の趣旨に従った運営が大事で、（開催を）止めればいいという話ではない」と語った。（千葉倫之）

野党が、桜を見る会の追及チームを「追及本部」に格上げへ
産経新聞 2019. 11. 14 16:03

立憲民主党や共産党など主要野党の国対委員長は14日、国会内で会談し、安倍晋三首相主催の「桜を見る会」に関する野党合同の追及チームを「追及本部」に格上げし、態勢を強化することを決めた。

立民の安住淳国対委員長は記者団に「疑惑がますます深まり、同時に（首相が）自分の決断で（来年度の開催を）やめたと言って、臭いものに蓋をしようと思う態度が許せない」と強調した。

現在のチームは11人態勢だが、追及本部は野党議員に幅広く参加を呼びかけ、「少なくとも3倍の態勢に強化」（安住氏）し、来週以降に始動する方針。

この日の会談では衆参の予算委員会の集中審議の開催を求める方針も確認した。安住氏は「首相本人や首相の事務所でなければ答えられないことが多数出てくるのは明らかだ」と語った。

開催中止も… 野党 “幕引きとはいかない”

13日に来年度の開催中止が発表された首相主催の「桜を見る会」をめぐり、野党側は「これで幕引きとはいかない」と追及を強めている。

共産党の田村議員は、安倍首相ら官邸幹部からの招待者の推薦について、政府が功績や功労をきちんと確認していたのかただした。共産党・田村議員「総理推薦として上がってきた名簿について、何らかのチェックを行ってききましたか」

内閣府・大塚官房長「重複がないかどうかと、そういったチェックはしております」

共産党・田村議員「功労功績のチェックなんか、何もしてないってことですよ。安倍事務所に対して（人数の）上限、目安、こういうものを示していましたか」

内閣府・大塚官房長「特に何人みたいな枠についてお示しするようなことはございません」

共産党・田村議員「（首相らとの）個人的なつながりで、どういう功労功績があるかもわからないような、そういう方々がどんどん増えていたら、この桜を見る会の趣旨が全く変わっちゃうってことじゃないですか」

また、田村議員は、安倍首相の後援会はバスで会場に入り、「手荷物検査もなかったという証言も複数得ている」と指摘した上で、セキュリティーチェックが適切に行われていたのかただした。

これに対し内閣府は「手荷物検査をどうやるかはセキュリティーに関する問題で、答えるものを持ち合わせていない」と答弁した。一方、菅官房長官は会見で、「桜を見る会」を廃止するかについて問われ、各国の大使らも招待していることを理由に「廃止は考えていない。まずはしっかりと見直しを進めていきたい」と述べた。

山本一太知事、桜を見る会に「こういう問題内在とは…」

朝日新聞デジタル 2019年11月14日19時42分



ネット番組で菅義偉官房長官（右）と談笑する群馬県の山本一太知事＝2019年8月、群馬県高崎市、代表撮影

首相主催の「桜を見る会」について、群馬県の山本一太知事は14日の定例記者会見で、「(参院議員時代に) 数回出席した。秘書が調整して地元の人が参加したこともあったかもしれないが、数人程度だ」と述べた。

山本知事は参院議員だった当時を振り返り、「行きたい人がいれば推薦できる仕組みになっているという意識はあったが、役職などによって枠が示されたことはない。私の方から官邸に『枠をこれだけ増やしてくれ』『こういう人を呼びたい』と言ったこともなかった」と明かした。

その上で「伝統ある行事なので、こういう問題が内在しているとは、正直言って全く考えが及ばなかった。(招待者の) 資格や要件をしっかりと再検証して、会をまたやるというのは正しい選択だと思う」と述べた。

山本知事は2013年4月20…

残り：229文字／全文：555文字

「桜を見る会」参加投稿、次々削除 世耕氏や山口県議のブログ

2019/11/14 13:33 (JST) 11/14 15:50 (JST) updated 共同通信社



「桜を見る会」で招待客と握手を交わす安倍首相（中央）＝4月、東京・新宿御苑

安倍晋三首相の支援者が多数招かれた疑いが浮上、政府が来年の開催を中止した「桜を見る会」。過去に参加したことをブログなどで報告していた国会議員や山口県議が相次いで投稿を削除していると野党が指摘している。共産党議員が問題を追及した8日の参院予算委員会の後に削除されたとみられる。

野党追及チームの資料によると、友田有山口県議は2014年にホームページで「桜を見る会」に支援者7人と参加したと報告。前夜には招待客約400人が参加し安倍首相夫妻を囲むパーティーが開催されたとしていた。

世耕弘成参院幹事長は12日、自身のホームページの写真を削除したと明らかにした。

官邸と与党に招待推薦依頼 桜を見る会、廃止しない方針

2019/11/14 13:04 (JST) 共同通信社



参院内閣委で首相主催の「桜を

見る会」を巡り質問する立憲民主党の岸真紀子氏＝14日午前

政府が来年の開催中止を決めた首相主催の「桜を見る会」を巡り、大西証史内閣審議官は14日の参院内閣委員会で、招待基準に関し「長年の慣例で官邸、与党内にも推薦依頼をし、内閣官房、内閣府で取りまとめた」と説明した。安倍晋三首相の地元支援者が多数参加していたとの指摘を踏まえ、立憲民主党の岸真紀子氏は「政治家の推薦枠があったのか」と追及。大西氏は「厳密な意味での枠ではない」と釈明した。政府は会自体は廃止しない方針で検討する。

首相は8日の国会審議で招待者の人選への関与を否定している。首相の事務所がどのような基準で招待客を推薦したかなどが今後の焦点となりそうだ。



参院内閣委で首相主催の「桜を見る会」を巡り答弁する内閣府の幹部＝14日午前

「桜を見る会」予算過少申告は問題があった 官房長官認める

毎日新聞 2019年11月14日 19時56分(最終更新 11月14日 19時59分)



記者会見で「桜を見る会」について答える菅義

偉官房長官＝首相官邸で2019年11月14日午前11時25分、川田雅浩撮影

政府が毎年春に開いてきた「桜を見る会」関連業務の入札公告の予算案を「過少計上」していたことに関し、菅義偉官房長官は14日の記者会見で、「問題があったのではないかと」の質問に対し「結果から見れば、そうではないかと」認めた。

「桜を見る会」の参加者は、2014年の約1万3700人から徐々に増加し、19年は約1万8200人となった。しかし、内閣府は14～19年度、8000人の参加を想定した予算1766万6000円を毎年度計上していた。

菅氏は「準備、設営に最低限必要となる経費を前提に予算を計上してきた」と説明。過去の予算案策定に問題があったとの認識を示し、今年8月にまとめた20年度予算の概算要求では「14～19年の参加者の平均値を使用し、(予算を) 要求した」と述べた。

また、招待基準や推薦プロセス、予算、招待者数を見直す方針を改めて示し、「精通している方から意見を聞き、ゼロベースで検討する」と述べた。【秋山信一】

「桜を見る会」菅官房長官 予算計上の在り方に問題あった

NHK 2019年11月14日 20時39分



総理大臣主催の「桜を見る会」をめぐり、菅官房長官は午後の記者会見で、来年度予算案の概算要求が今年度までの予算額の3倍余りとなり、これまでの予算計上の在り方に問題があったという認識を示しました。



総理大臣主催の「桜を見る会」をめぐっては、平成26年度から今年度まで、一律1700万円となっている予算額を常に支出が上回り、来年度予算案の概算要求では、これまでの予算額の3倍を超える5700万円余りが計上されています。

これについて、菅官房長官は午後の記者会見で「来年度予算案の概算要求では、近年の開催の実態を踏まえて、平成26年度から今年度までの招待者および参加者の平均値を使用しており、内閣府で招待者をおよそ1万4000人、参加者を1万6000人と想定して要求した」と述べました。

そして記者団が「これまでの予算計上の在り方に問題があったと考えるのか」と質問したのに対し、「結果から見れば、そうではないか」と述べ、問題があったという認識を示しました。

また菅官房長官は、総理大臣や官房長官、与党などへの招待者の推薦依頼について「国民から見て、誤解、疑惑が生まれないようにしたい」と述べ、今後、見直すことも含め検討する考えを示しました。

さらに菅官房長官は、各省庁が作成した推薦者名簿の調査や公開を行うかどうかについて「今回は、さまざまな意見があったので、ゼロベースで検討し、これから最終的に決定していきたい」と述べました。

菅長官「桜を見る会は一度考え直しましょう」 安倍首相も即断

産経新聞 2019. 11. 14 18:12

首相主催の「桜を見る会」は、問題表面化から6日目の早さで来年度の開催中止が決まった。放置すれば政権への打撃が広がりかねず、早期に中止を決めるべきだとの判断に傾いた菅義偉官房長官が13日に安倍晋三首相に進言し、首相が決断した。

「一度考え直してみましょう」

菅氏は13日、首相と向き合い、こう訴えた。桜を見る会は、8日の参院予算委員会で共産党の田村智子氏が取り上げたのを機に注目された。それでも政府与党では「桜なんて時期外れだ」（政府関係者）、「民主党政権時代も同様だった」（自民党中堅）との声が上がリ、危機感は薄かった。

しかし、第2次安倍政権後に経費が増えていることや招待基準に曖昧な部分が多いことなどが明らかになり、「公的行事の私物化」という批判が高まった。こうした事態を受け菅氏は12日の記者会見で、見直しの検討を表明。この時点で来年度の中止を視野に入れていた。

中止決定後、政府高官は「長年、これまでの慣行で対応していた。ある意味、われわれもマンネリ化していた」と、運営方法の問題を率直に認めた。

政府が早期の幕引きを図った背景には、先月辞任した2閣僚や

英語民間試験導入の問題が尾を引く中、さらなる打撃は避けたいとの思いがあった。今国会で焦点の日米貿易協定承認案を確実に成立させるため、国会審議を遅らせる懸念材料に素早く対処したともいえる。

一方、菅氏は14日の記者会見で、桜を見る会について「現時点で廃止することは考えていない」と述べ、問題点を修正した上で早ければ令和3年度以降は再開したい考えを示した。

PR

（大島悠亮）

桜を見る会「廃止考えず」 菅官房長官

時事通信 2019年11月14日12時16分



記者会見に臨む菅義偉官房長官＝14日午前、首相

官邸

菅義偉官房長官は14日の記者会見で、来年度の開催を中止した「桜を見る会」について「各国の大使、公使も招いており、現時点で廃止は考えていない」との認識を示した。その上で「まずはしっかり見直しを進めたい」と強調した。

安倍晋三首相らが推薦した招待客数については、「具体的な人数は承知していない。推薦名簿は廃棄しており、内訳を答えるのは困難だ」と述べるにとどめた。

桜を見る会「廃止は考えてない」 菅氏、再開目指す考え

朝日新聞デジタル 2019年11月14日12時52分

菅義偉官房長官は14日午前の記者会見で、政府が来年度の開催中止を決めた首相主催の「桜を見る会」について「現時点で廃止は考えていない」と述べた。批判が相次いだ招待者の選定基準や開催規模を見直し、2021年度以降の再開を目指す方針だ。

菅氏は、桜を見る会について1952年から続く内閣の公式行事であり、各国の大使や公使も招いてきたと説明。「まずはしっかりと指摘をいただいた点を見直す」と述べた。

また菅氏は、内閣府と内閣官房から首相や副総理、官房長官、官房副長官に招待者の推薦依頼があったことを明らかにしていたが、それぞれの具体的な規模については、「推薦名簿は会の終了をもって遅滞なく廃棄しており、内訳を答えることは困難」として答えなかった。

桜を見る会の廃止「現時点で考えていない」…菅長官

読売新聞 2019/11/14 22:12

菅官房長官は14日の記者会見で、首相主催の「桜を見る会」について、「現時点で廃止することは考えていない」と述べた。政府は来年度の開催中止を発表しており、招待基準や参加人数、予算額などを見直した上で2021年度に再開する方針だ。

菅氏は「各界の功績、功労のあった方々などを幅広く招待し、慰労するとともに親しく懇談する内閣の公的行事だ。各国の大使、公使もお招きしている」と意義を強調した。

一方、立憲民主党や国民民主党など野党4党の国会対策委員長は14日、追及チームの態勢を現在の11人から3倍以上に増やし、来週以降に追及本部に格上げすることを決めた。立民の安住淳国会対策委員長は記者団に「総力を挙げて本格的な調査に入る」と語った。

野党は、「桜を見る会」前夜に安倍首相の後援会員らが参加した東京都内のホテルでの会合について「参加費5000円は安すぎる。後援会が差額を払っていけば問題だ」などと主張している。

桜を見る会「廃止は考えていない」菅官房長官

毎日新聞 2019年11月14日 12時09分(最終更新 11月14日 12時19分)

菅義偉官房長官は14日午前の記者会見で、来年の開催中止を決めた「桜を見る会」について、「現時点において廃止することは考えていない」と述べた。

菅氏は1952年から続く歴史ある内閣の公的行事だとし「各国の大使、公使もお招きしている」と強調。「まずはしっかりと、ご指摘をいただいた点を見直していく」と語った。【秋山信一】

桜を見る会「廃止考えず」官房長官

日経新聞 2019/11/14 12:15

菅義偉官房長官は14日午前の記者会見で、首相主催で毎年春に開く「桜を見る会」の廃止を検討しているかを問われ「現時点で廃止は考えていない。まずはしっかりと指摘いただいた点を見直す」と述べた。会の意義については「内閣の公的行事だ。各国の大使や公使を招いている」と強調した。

「桜を見る会」を巡っては安倍晋三首相の後援会関係者が多数参加しているとして野党が批判していた。菅氏は13日に2020年の開催を中止すると発表した。

桜を見る会、野党の追及続く 支持率への影響注視

2019/11/14 18:08 (2019/11/14 22:08 更新) 日本経済新聞 電子版

立憲民主党など野党は14日、政府が2020年の開催中止を決めた首相主催の「桜を見る会」を巡る追及を続けた。野党は安倍晋三首相が後援会関係者を多数参加させるなど私物化していたのではないかと主張している。菅義偉官房長官は招待基準などの見直しを進める考えを重ねて強調した。与野党とも支持率など世論の動向を注視している。

立民の安住淳国会対策委員長は14日の代議士会で「始まりはこれからだ。収束なんて大間違...

急転直下、桜を見る会散る 首相周辺「こうするしか」

朝日新聞デジタル 安倍龍太郎 鬼原民幸 井上昇 2019年11月14日 04時50分



「桜を見る会」中止に関して、質問

に答える安倍晋三首相＝2019年11月13日午後6時44分、首相官邸、岩下毅撮影



政府は国の予算で開いてきた首相主催の「桜を見る会」を来年度は取りやめると発表した。予算や出席者の膨張が批判され、安倍晋三首相の後援者らが大量出席していると指摘され始めた直後の中止判断だ。野党は「公的行事の私物化だ」と事実関係を明確にするよう要求。だが、政府は詳細な説明には応じていない。

「読み上げが1件あります」。13日午後の菅義偉官房長官の定例会見。予定よりも20分ほど遅れて会見場に入った菅氏は、手元のファイルを開くと用意したメモを読み上げ、「桜を見る会」の来年度の中止を発表した。会見場の記者団からはどよめきが起こった。

菅氏は、わずか約5時間前の午前の会見で「首相枠という特別なものはない」と否定していたが、午後には一転して具体的に存在を認めた。「徳俵に足がかかりっぱなしになった。こうするしかなかった」。首相周辺は、急転直下の判断についてそう語った。

政府は10月半ば、税金を使った同会の取りやめなどを求めた野党の質問主意書に「公的行事であり、意義あるものと考えている」との答弁書を決定したばかり。今月8日の参院予算委員会で野党がこの問題を取り上げ、11日に立憲など野党統一会派と共産党が調査チームの立ち上げを決めても、政府高官は「桜というがもう冬だ。いつの時期の話だ」と笑っていた。

菅氏は同会について、各界で功績、功劳があった人々を招くのが趣旨だと会見で説明。自民党の二階俊博幹事長も会見で、党の支援者を招くことについて「配慮するのは当然のこと」などと、問題視するそぶりはうかがえなかった。

だが、同会と首相との関わりへの批判が強まり始めると、首相官邸の対応も変わる。

首相の後援会関係者らが多数同...
残り：2451文字／全文：3150文字

「桜を見る会、20 年開催中止」安倍首相が説明の意思 衆参予算委で

毎日新聞 2019 年 11 月 14 日 11 時 55 分(最終更新 11 月 14 日 12 時 05 分)



首相官邸に入る安倍晋三首相＝2019 年 11 月 14

日午前 9 時 32 分、川田雅浩撮影

政府は 14 日午前の参院内閣委員会で、「桜を見る会」の来年開催を中止したことについて、安倍晋三首相が衆参両院の予算委員会に出席し、説明する用意があると明らかにした。

立憲民主党の岸真紀子氏が首相の説明責任を追及。内閣官房の大西証史内閣審議官は「予算委員会でお求めが野党の先生方からであると認識している。場が設定されれば、首相が臨まれると思う」と答弁した。

岸氏はまた、招待状の転売の可能性などを指摘し反社会勢力が入場する危険性があるとした。内閣府の大塚幸寛官房長は『（招待の）基準の明確化、プロセスの透明化をはじめとして、全般的な見直しを幅広く意見を聞きながら行う』と菅義偉官房長官から発言があった。それを踏まえて検討したい」と述べた。

桜を見る会を巡っては首相の後援者が多数参加していたことなどが発覚。菅氏が 13 日の記者会見で、招待基準などを見直すためだとして来年の開催中止を発表した。その後、首相も記者団に「私の判断で中止をすることになった」と述べていた。【宮原健太】

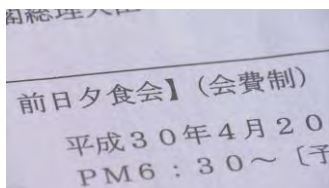
「桜を見る会」安倍首相の国会答弁と食い違う証言

NHK 11 月 14 日 20 時 02 分



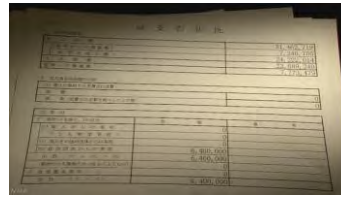
総理大臣主催の「桜を見る会」をめぐる問題。関係者への取材を進めると、安倍総理大臣の国会答弁とは食い違う証言が出てきています。

「桜を見る会」前日の懇親会は



まず「桜を見る会」の前日に「前夜祭」などと称して安倍総理大臣の後援会が都内のホテルで毎年、開いていた懇親会についてです。

NHKが入手した「桜を見る会」の案内文には、前日の懇親会について、安倍総理大臣の後援会が主催し会費は 5000 円だったと記されていて、ことしの懇親会に出席した女性は「850 人ぐらいが出席していた」と証言しています。



政治資金規正法は、政治団体が会費を徴収して催し物を開いた場合には、その収支を政治資金収支報告書に記載することを義務づけていますが、政治団体「安倍晋三後援会」の収支報告書にはこうした懇親会の収支の記載はありません。



懇親会について安倍総理大臣は今年 8 日の参議院予算委員会で「各個人がホテルとの関係においてもそれはホテルに直接払い込みをしているというふうに承知している」と答弁し、会費は出席者がそれぞれホテル側に直接支払ったと受け取れる説明をしています。

「代金は一括で受け取る」「最低で 1 人 1 万 1000 円から」数百人規模のパーティーの代金を出席者一人一人がホテル側に直接支払うことは可能なのでしょうか？



NHKは過去に懇親会が開かれていた都内の 2 つのホテルに取材しました。いずれも個別のケースについては答えられなかったのですが、「ANA インターコンチネンタルホテル東京」は「パーティーの代金は原則として出席者から個別に受け取ることはなく主催者や代表者から一括で受け取る」と説明しました。



「ホテルニューオータニ」は「代金を個別に受け取るか一括かはケースバイケースで相談次第だ」と回答したうえで、会費 5000 円のパーティーのプランはあるかどうか尋ねたところ「パーティープランの最低価格は 1 人 1 万 1000 円からで値切り交渉などには応じられない」などと説明しました。

官房長官「5000 円でできないことはないのでは」

菅官房長官は 14 日午後の記者会見で、安倍総理大臣の後援会が「桜を見る会」の前日夜に、東京都内で開いた懇親会の会費が 1 人 5000 円だったとされることについて、「安倍総理大臣の事務所のことなので承知していないが、5000 円でできないことはな

いのではないか。想定範囲だと思う」と述べました。

地方議員「首相の事務所関係者に支払ったと思う」

NHKは懇親会に出席した複数の関係者も取材しました。

このうちとし4月の懇親会に出席した山口県内の地方議員は「5000 円の会費は会場の部屋の前に設けられた受付でホテルの従業員ではなく安倍総理大臣の事務所の関係者に支払ったと思う。このような会合でホテル関係者に会費を支払うということはありません」と証言しました。

そのうえでこの議員は、5000 円の会費について「ホテルで開かれるパーティーと考えると、少し安いと感じた」と話しました。

招待者の取りまとめは

このほか安倍総理大臣は「桜を見る会」の招待者について「各界において功績・功労のあった方を各省庁からの意見等を踏まえ幅広く招待している。私は招待者の取りまとめ等には関与していない」と答弁しています。

しかしNHKが入手した「桜を見る会」の案内文は安倍総理大臣の事務所が地元関係者に参加を募る内容になっていて、実質的に安倍総理大臣の事務所が支援者の参加を取りまとめたことを伺わせる内容になっています。

地方議員「推薦枠 割りふる仕事をした」

かつて自民党の国会議員の秘書を務めていた地方議員がNHKの取材に応じ、総理大臣主催の「桜を見る会」には国会議員の推薦枠があったとしたうえで、「みずからもその枠を割りふる仕事をしたことがある」と証言しました。

この地方議員によりますと、十数年前の自民党政権時代に自民党の国会議員の秘書を務めていた際、総理大臣主催の「桜を見る会」の参加者に国会議員の推薦枠があることを知らされ、その枠を議員の支援者に割りふる仕事を担当したということです。

この議員は、「秘書の仕事として、議員の指示を受けて支援者に『桜を見る会』への参加を呼びかけたことがある。割り当てられた推薦枠は5人ほどで、後援会で功労があった方やお世話になった方に声をかけていた」と証言しました。そのうえで、「桜を見る会」は公的行事というより政治活動の色彩が強いのかという質問に対し、「そのように指摘されても否定しづらい部分は大いにある」と述べました。

さらに、地方議員になったあと、「桜を見る会」に実際に参加した際に感じた違和感についても証言しました。

この議員が住んでいる地域では、地方議員が「桜を見る会」に招かれることはふだんはほとんどなかったということですが、自民党の総裁選を控えていた去年の『桜を見る会』には、この議員を含めて多くの自民党の地方議員が会に招かれたということです。

この議員は「ふだんは招待されないのに総裁選前に全国の自民党の地方議員が呼ばれたということは、3選を目指す安倍総理大臣への支持固めという意味合いがあるのではないか」という疑問を感じた」と話していました。

政治資金収支報告書への記載漏れ たびたび問題に

国会議員の政治団体が開催した会費制の催しをめぐるのは、政治資金収支報告書への記載漏れがたびたび問題となり、収支報告書を訂正するケースも相次いでいます。

去年 12 月には菅原 前経済産業大臣の政治団体「菅原一秀後援会」が支援者などから会費を集めたバス旅行の収支を複数年にわ

たって政治資金収支報告書に記載していなかったことが分かり、菅原氏側は収支報告書を訂正しました。

当時、菅原氏の事務所は「旅行業者に任せた行事で、担当者が後援会の収支として報告する必要がないと誤解していた。今後はしっかりと収支報告をしてまいります」とコメントしていました。

また去年 9 月には自民党の工藤彰三衆議院議員の政治団体「彰友会」が、平成 26 年から 27 年にかけて支援者から会費を集めた「総会」や「国政報告会」を名古屋市のホテルで開いていましたが、こうした集会の収支を記載していなかったことが分かり、記載に漏れがあったことを認めて収支報告書を訂正しました。

このほか去年 10 月には立憲民主党の近藤昭一元副代表の政治団体も、平成 26 年と 27 年に支援者らから会費を集めて開いた催しの収入を収支報告書に記載していなかったことが明らかになったほか、去年 12 月には立憲民主党の川内博史衆議院議員の後援会が 3 年前に開いたパーティーの収入を収支報告書に記載していなかったことが分かり、いずれも収支報告書を訂正していました。

共通テスト記述式問題の中止法案 野党 4 党が提出

毎日新聞 2019 年 11 月 14 日 16 時 15 分(最終更新 11 月 14 日 16 時 16 分)

立憲民主、国民民主、共産、社民の野党 4 党は 14 日、2020 年度に始まる大学入学共通テストで国語・数学の記述式問題の導入を中止する法案を衆院に共同提出した。

記述式問題はアルバイトなどによる採点で公平性が担保されないなどの不安が受験生に広がっており、法案では従来通りのマークシート式の試験実施を求めている。【東久保逸夫】

野党、記述式中止法案を提出 大学入学共通テスト

日経新聞 2019/11/14 18:22

立憲民主党、国民民主党など野党 4 党は 14 日、2020 年度から大学入学共通テストで実施する記述式問題について、導入を中止する法案を衆院に共同提出した。共通テストはマークシート式で実施すると法律に定める。

共通テストはマークシートの選択問題で構成する大学入試センター試験と異なり、国語や数学の一部で記述式が導入される。採点の公平性に疑問の声があるほか、出願前に必要な自己採点が難しいといった懸念が学生や有識者から出ている。

主要野党が大学共通テストの記述式問題導入めぐり延期法案を提出

産経新聞 2019. 11. 14 17:18

立憲民主や国民民主などの主要野党は 14 日、大学入学共通テストの国語と数学に導入が予定されている記述式問題の中止を求める法案を衆院に提出した。立民の川内博史衆院議員は提出後、記者団に「受験生が公正・公平な条件の下で受験できるようにする」と述べ、マークシート方式を採用するよう主張した。

主要野党は採点の公平性や公正性が担保できないなどとして記述式問題の導入中止を求めてきた。無所属の山井和則衆院議員は「高校生に対する虐待ではないか。一刻も早く止めるべきだ。高校生は半泣きになっている」と語った。

大学入学共通テスト 記述式問題 導入中止の法案提出 野党4党

NHK2019年11月14日 18時04分



大学入学共通テストに導入される記述式の問題について、立憲民主党など野党4党は、採点者によってばらつきが出て公平な採点ができないなどとして、導入を中止する法案を国会に提出しました。

再来年1月から始まる大学入学共通テストでは、国語と数学に記述式の問題が導入され、採点には大学院生や教員の退職者、それにアルバイトの大学生があたることが想定されています。

立憲民主党、国民民主党、共産党、社民党の野党4党は、記述式の問題について、採点者によってばらつきが出て公平な採点ができないなどとして、導入を中止する法案を、14日、衆議院に提出しました。

4党は、専門性を欠いたアルバイトが採点にあたることも問題だとしうえて、試験後の自己採点も困難で、志望校への出願にも支障が出るなどと指摘し、試験はすべてマークシート方式で行うべきだとしています。

法案を提出した立憲民主党の川内博史衆議院議員は、記者団に対し、「受験生が公平・公正な条件のもとで受験できるようにすることが大人の役目だ。記述式の試験は、それぞれの大学が2次試験で行っており問題ない」と述べました。

落選18年から異例の当選 初質問の相手はあのプリンス

星野典久 2019年11月14日 17時47分



参院環境委で質問に立つ共産党の伊藤岳氏＝2019年11月14日午後、岩下毅撮影



夏の参院選で国政挑戦8度目にして初当選を果たした共産党の参院議員が14日、「国会論戦」デビューした。埼玉選挙区選出で59歳の伊藤岳氏。14日の参院環境委員会で38歳の小泉進次郎環境相を相手に、初めての質問に臨んだ。「遅れてきた新人」は、「政界のプリンス」にどのような論戦を挑んだのか。

衆参で7回落選

「災害ごみの仮置き場への搬出と処理が(被災地自体にとって)切実な課題となっている。(国の)支援が足りていると考えてい

るか」

伊藤氏は地元・埼玉県の台風災害をテーマに口火を切った。21歳年下の先輩議員である小泉氏が「引き続き必要な支援を丁寧におこなってほしい」と応じると、「適切ではないと思う」と切り捨てた。委員会室で質疑を見守った同僚議員からは「いいぞ!」と拍手が起こった。

文字どおり、「七転び八起き」の人生だった。2001年の参院選を皮切りに衆参で計7回落選を重ねた。共産党は「反自民」などの受け皿づくりを大きな目的として、当選する可能性が高い情勢でも積極的に候補者を擁立する傾向がある。それでも、党幹部によると、国政に初挑戦してから当選するまでの年月が18年かかったケースは異例だという。

この日質問をぶつけた小泉氏は、首相だった父から選挙区を受け継いだ「サラブレッド」と言える。自民党が下野した09年衆院選で初当選した小泉氏が「とにかく『世襲はダメだ、自民党はダメだ』。本当に厳しい批判の中で始まった政治家人生だった」と話すのを聞き、「彼には『厳しい』という言葉を手軽に使うのが好きではない」と感じた末の初論戦だった。

「もうやめようか」とも

党の門をたたいたきっかけは、学生時代に公害問題に取り組んだことだ。

1996年からの衆院小選挙区制度導入など一連の政治改革で、自民、民主による2大政党化が進み、共産にとって厳しい選挙が続いた。そんな中で立候補を続けた。落選するたび、「もうやめようか」と思い悩んだという。

共産は組織政党だけに、候補者選びや選挙戦術などで、党の論理がより優先しやすい。重点選挙区に指定されず、本部に対して複雑な思いを抱くこともあった。だが、アルバイトで生計を立てながら地方選に挑む仲間もいて、「自分はまだ恵まれている。あきらめるわけにはいかない」と、自らを奮い立たせた。

「また負けたんだってな」

「お前のお父さん、また負けたんだってな」。長男と次男は小学生のころ、友人からそう冷やかされた。そのため、長男からは「学校の周囲200メートルに近づかないで」選挙に出るなら、自民か民主からにしてよ」などと言われたこともあった。

選挙に挑戦するかたわら、県常任委員など党の仕事に従事。「同世代の会社員と比べて半分ぐらいの収入」(伊藤氏)で、生活と政治活動をつないだ。

転機は11年に訪れた。福島第一原発事故後、「脱原発」を掲げる共産に票が集まった。10年の得票数は20万票だったが、13年は35万票、16年は48万票に伸びた。議席には届かなかったものの、伊藤氏は「何度も立候補していた分、知名度も上がったのかな」と感じた。

そして迎えた今年7月の参院選。得票数は36万票弱に減らしたが、改選数増(3から4)の恩恵もあって4議席目に滑り込んだ。初めて議員バッジを手にした父に、長男は祝福の言葉とともにこう言って笑ったという。「『永遠の候補者』で終わると思っていた」

ようやく議席を得た伊藤氏は、国会議員として何をを目指すのか。「大企業優先の政治から、国民優先の政治に変えたい」。共産らしい目標を掲げ、6年の任期を歩み始めている。

◇

第200回臨時国会。国会論戦や各党の動きなど、政治家たちの様子を「国会ひとコマ」としてお伝えします。(星野典久)

社民党首選、来年1月実施へ 又市氏は立候補せず

時事通信 2019年11月14日 17時58分

社民党は14日の常任幹事会で、又市征治党首の任期満了に伴う党首選の実施本部設置を決めた。28日に初会合を開き、来年1月25、26両日投票、同27日開票の選挙日程を決める。これに関し、又市氏は記者会見で「体調が思わしくない」と述べ、自身は立候補しない考えを示した。又市氏の任期は来年2月23日まで。

社民党首選、20年1月実施へ

日経新聞 2019/11/14 18:21

社民党は14日の常任幹事会で、2020年1月10日告示、25～26日投票、27日開票の日程で党首選を実施する方針を決めた。11月28日の党首選実施本部の会議で正式に決定する。又市征治党首は14日の記者会見で「体調が思わしくない」と述べ、立候補しない意向を示した。定期党大会を2月22～23日に開くことも決めた。

公明結党55年「新たな出発」 山口代表

2019年11月14日 19時25分

公明党の山口那津男代表は14日の党中央幹事会で、17日に結党55周年を迎えることについて「次の時代へのスタートラインと位置付け、これまでの党の歴史を振り返りつつ新たな出発をしていきたい」と表明した。

新ポイント制度の還元率25%に 自民提言、マイナンバー活用で

日経新聞 2019/11/14 18:00

自民党の経済成長戦略本部（本部長・岸田文雄政調会長）は14日、党本部で経済対策に関する会合を開いた。政府が2020年9月の開始をめざすマイナンバーカードを活用したポイント還元制度に関し、還元率を25%とするよう提言した。消費税率10%への引き上げに伴う景気の落ち込みを避ける対策に位置づける。自民党同本部は還元率に関し、プレミアム付き商品券など過去の消費活性化策を参考に「25%とし、国民がメリットを強く実感する制度設計にする」よう要求した。普及率が10%台にとどまる同カードの利用を後押しする効果もある。19年度補正予算案に関連費用を盛り込むよう求める方針だ。

ポイント還元制度を巡る今後の予定	
2020年 6月末	消費税増税に伴うポイント還元 制度が終了
7～8月	東京五輪・パラリンピック
9月?	マイナンバーを活用したポイン ト還元制度が開始

同カードを使ったポイント制度は政府が予定を前倒しし、20年9月の導入に向けて準備中だ。カードにためた電子マネーなどを使って買い物すれば、国からポイント還元を受けられる全国共通の制度を検討している。

今年10月に消費税増税対策として導入したキャッシュレス決済

へのポイント還元制度は20年6月末に終了する。マイナンバーカードを使った新制度は20年10月の開始を想定していたが、対策に空白が生じるとの懸念が強く、1カ月前倒しする。

自民党の経済成長戦略本部は次世代通信規格「5G」関連の投資を支援する新たな税制の導入、学校のICT（情報通信技術）整備に関する予算の増額を求める方針も確認した。

岸田氏は14日の会合で「20年の東京五輪・パラリンピックをにらみ、より大きな成長戦略を打ち出したい」と述べた。自民党は26日に政調の各部会長を集め、補正予算に関する要望をまとめる。

元患者家族補償法案15日成立へ ハンセン病、参院委が可決

2019/11/14 12:19 (JST) 共同通信社



ハンセン病問題基本法改正案を全

会一致で可決した参院厚労委＝14日午前

ハンセン病元患者家族に最大180万円を支給する補償法案と、名誉回復を図るハンセン病問題基本法改正案は14日、参院厚生労働委員会で全会一致により可決された。15日の参院本会議で可決、成立する見通し。

加藤勝信厚労相は質疑で「元患者や家族は偏見や差別の中で、言い難い苦痛や苦難の道があった。その責任を自覚して反省し、当事者の皆さんの話を聞きながら名誉や家族関係の回復にしっかり取り組む」と強調。また、来年1月末には補償金を支給できるよう作業を進めていると述べた。

補償法案は前文に、国会と政府による反省とおわびを明記。元患者の親子や配偶者に180万円を支給する。

都知事選、小池氏の表明時期焦点に 再選へ布石着々

時事通信 2019年11月14日 07時18分



記者団の質問に応じる東京都の小池百合子知事＝

13日午後、都庁

任期満了に伴う東京都知事選の投開票日が来年7月5日と決まった。現職の小池百合子知事は再選への態度を明らかにしていないが、都は小池氏の下で2020年から20年程度先を見据えた長期戦略の策定を進めており、周辺は「立候補は当然」と受け止める。直近では東京五輪マラソン・競歩の札幌開催が決まる不測の事態もあったが、出馬への影響はないとみる向きが多い。

札幌移転案が判明した直後の10月中旬、小池氏はテレビ番組に連日出演し、東京開催の意義を主張。ある都幹部は「当初の世間の反応は『移転も仕方ない』だったが、次第に『国際オリンピック委員会（IOC）はひどい』に変わった」として、小池氏への同情が集まったと説明。札幌移転の経費を都が負担しない方向

で合意したことも、失点を防いだとみている。

今後の焦点は小池氏の出馬表明時期。知事選日程が決まった13日午後、同氏は「毎日知事として励んでいる」と記者団をけむに巻いたが、先の幹部は「現職の強みは、公務で自身をアピールできること。ぎりぎりまで表明しないのでは」。

都は12月に長期戦略の柱となる主要事業を公表する予定で、小池氏が重点施策とする少子化対策も盛り込む。これが事実上の選挙公約になるとの見方もある。11月下旬には小池氏が政治資金パーティーを開く予定で、再選への布石を着々と打っている。

自民党都連は対抗馬を立てる方針だが「現職に挑むので、来年度予算に関する答弁など小池氏の動きをよく見る必要がある」

(自民都議)と早期擁立に慎重。共産など他の野党会派は統一候補擁立も視野に動いているが「まだ適任者が見つからない」(野党都議)状況だ。

自民都連、小池氏の対抗馬擁立急ぐ 野党、統一候補を模索—都知事選

時事通信 2019年11月14日07時17分

東京都知事選の投開票日が来年7月5日に決まったことを受け、自民党は小池百合子知事と対立する都連を中心に、対抗馬擁立に向けた作業を加速させる方針だ。主要野党からは統一候補の擁立を求める声が上がった。

自民都連所属の下村博文選対委員長は13日、党本部で記者団に「小池氏ではない独自候補を擁立する前提で、都連が選考委員会を開いている」と強調。「勝てる候補」を擁立して都政奪還を目指す考えを改めて示した。

ただ、二階俊博幹事長は再三、小池氏再選を支持する考えを表明している。党本部と都連の足並みがそろうかは不透明なままだ。

国政では自民党と連立を組む公明党は、都政で小池氏に「是々非々」の立場を取る。石田祝稔政調会長は記者会見で、「候補者が出そろっていないので申し上げることはない」と述べるにとどめた。

これに対し、国民民主党の玉木雄一郎代表は会見で、「野党第1党の立憲民主党の対応を見定めたい。連携してやれる形になれば良い」と強調した。共産党の穀田恵二国対委員長も「市民と野党の共闘という立場で候補者を擁立していく」と訴えた。

一方、日本維新の会の馬場伸幸幹事長は会見で、「新しい発想で自治体経営ができる人がいれば擁立したい」と述べ、独自候補の擁立を模索する考えを示した。

大阪都構想、賛成多数なら「2025年元日移行」提案へ

朝日新聞デジタル 2019年11月14日15時00分

大阪市をなくし四つの特別区に再編する大阪都構想で大阪府と市は、来年秋から冬にかけて行う住民投票で賛成多数となれば、特別区への移行日を2025年1月1日と明記する原案を固めた。都構想の具体案をつくる府と市による22日の法定協議会で、吉村洋文知事と松井一郎市長の方針として提案する。

都構想の素案では移行に必要な期間を住民投票後、「3～4年」としていた。これに加えて松井市長は「25年大阪・関西万博は新しい、ワン大阪で迎える」との考えを表明。5月の大阪・関西万博前の移行を目指しつつ、一定の準備期間を確保して余裕をも

って移行できるタイミングとする。

元日とするのは、住民サービス…

残り：121文字／全文：395文字

大嘗祭、首相や閣僚が参列 15日午前の閣議はとりやめ

日経新聞 2019/11/14 18:55

大嘗宮の儀には安倍晋三首相ら三権の長と菅義偉官房長官ら各閣僚、各省庁の事務次官なども参列し、敷地内に設けられたテント張りの幄舎(あくしゃ)で儀式を見守った。夜半の冷え込みに備え、政権幹部の一人は「防寒着を着込んでいく」と話した。出席者によると、コートなどを着る際は黒系の色で統一するという。儀式の終了は15日午前3時半ごろで、参列者にとっても長丁場。定例で金曜日の午前中に開かれる15日の閣議はとりやめる。大嘗祭には約670人が招待された。公明党は前回は党として不参加を決めたが、今回は議員の判断に委ねた。野党では共産党、社民党が欠席の意向を示した。

皇居で大嘗祭 未明まで伝統儀式

時事通信 2019年11月15日01時01分



「悠紀殿供饌(きょうせん)の儀」のため、御祭服を着て大嘗宮の悠紀殿に向かわれる天皇陛下＝14日午後、皇居・東御苑(代表撮影)

皇位継承に伴う伝統儀式の大嘗祭の中心儀式「大嘗宮の儀」が14日夜から15日未明にかけ、皇居・東御苑で皇室行事として行われた。天皇陛下は米、アワや酒などを神前に供え、国家、国民の安寧と五穀豊穰(ほうじょう)などを祈られた。

陛下は、約90メートル四方の敷地に40近くの建物が並ぶ大嘗宮の廻立(かいりゅう)殿で身を清め、「御祭服」という白絹の装束に着替え、14日午後6時半すぎに悠紀(ゆき)殿の外陣に入り、「悠紀殿供饌(きょうせん)の儀」が始まった。



「悠紀殿供饌(きょうせん)の儀」のため、大嘗宮の帳殿に向かわれる皇后さま＝14日午後、皇居・東御苑(代表撮影)

白の十二単(ひとえ)姿の皇后さまも帳殿に入り拝礼した。皇后さまの退出後、供え物の「神饌(しんせん)」が悠紀殿に運び込まれた。

続いて陛下は悠紀殿奥の内陣に入った。宮内庁によると、陛下は灯籠の明かりの中で、伊勢神宮の方を向いて御座に座り、悠紀地方(東日本)の栃木県で今年収穫された米、アワの飯と、白酒(しろき)、黒酒(くろき)、海産物などの神饌を皇祖神とされる天照大神と神々に供えた。拝礼して御告文を読み上げ、自らも飯と酒を口にした。

明治以降の「大嘗祭」		
明治天皇	1871(明治4)年11月17~18日	皇居・吹上御苑
大正天皇	1915(大正4)年11月14~15日	京都・仙洞御所
昭和天皇	1928(昭和3)年11月14~15日	同上
上皇さま	1990(平成2)年11月22~23日	皇居・東御苑
天皇陛下	2019(令和元)年11月14~15日	同上

(三)明治天皇の御代は旧暦

悠紀殿での儀式は約3時間で終了。引き続き「主基(すき)殿供饗の儀」が15日午前0時半ごろから始まり、主基地方(西日本)の京都府で収穫した新穀を使った同様の儀式が行われた。

両儀式には皇后さま、秋篠宮ご夫妻ら皇族方が参列。悠紀殿での儀式には、安倍晋三首相ら三権の長、閣僚、都道府県知事、各界代表ら510人が出席し、主基殿での儀式には425人が出席した。

令和の大嘗祭、皇居で重要祭祀 「政教分離違反」と批判も

2019/11/15 01:06 (JST)11/15 01:07 (JST)updated 共同通信社



「悠紀殿供饗の儀」のため、薄

明かりの中、祭服を着て大嘗宮の悠紀殿に向かわれる天皇陛下＝14日午後6時35分、皇居・東御苑

皇位継承の重要祭祀「大嘗祭」の中心儀式「大嘗宮の儀」が14日夜～15日未明、皇居・東御苑に特設された大嘗宮で、公的な皇室行事として営まれた。即位した天皇が五穀豊穡や国の安寧を祈る儀式で、「秘事」とされる。14日夜の「悠紀殿供饗の儀」と、15日未明の「主基殿供饗の儀」が挙行された。

神道形式の大嘗祭に対する公費支出を巡っては、1990年に催された前回から、憲法の政教分離原則に反するとの批判が根強い。政府は令和の今回も公的性格を認め、費用は皇室の公的活動費「宮廷費」を充てた。総額約24億4千万円となる見通し。



「悠紀殿供饗の儀」のため、大嘗宮の帳殿に

向かわれる皇后さま＝14日午後6時34分、皇居・東御苑(代表撮影)



「大嘗宮の儀」のため、皇居に向かわれる天

皇陛下＝14日午後4時34分、赤坂御所

今夜から大嘗祭 重要調度品の産地、人口減り高齢化一後継者

づくり課題

時事通信 2019年11月14日07時10分



1990年の大嘗祭に調進した「繪服(にぎ

たえ)」と同時期に作った絹布を手にする愛知県豊田市稲武町の金田平重さん(左)。隣は、同様に29年前に「僊服(あらたえ)」を調進した徳島県美馬市木屋平の三木信夫さん＝2018年10月、愛知県豊田市稲武町

天皇陛下の即位に伴う伝統儀式「大嘗祭」が14日夜から15日未明にかけて行われる。儀式で神様のお召し物として供えられる絹布「繪服(にぎたえ)」と麻織物「僊服(あらたえ)」の産地では、29年前の平成時と同様、慎重に作業が進められた。

僊服の原料となる大麻は、徳島県美馬市木屋平の山あいでも許可を取って育て、糸を紡いだ上で、隣の吉野川市で織物に仕上げた。中心となって進めたのは、阿波忌部(あわいんべ)氏の直系とされる「三木家」の28代当主信夫さん(83)。前回の大嘗祭でも大役を担った。

繪服は、愛知県豊田市稲武町の「まゆっこクラブ」の女性たちが糸を引き、平成時に中心的な役割を果たした金田平重さん(90)が今回も作業を見守った。

大嘗祭まで1年余りとなった昨年10月、長野、岐阜両県と接する同町まで三木さんが足を運び、金田さんと面会する機会を持った。「最も重要な調度品を納めている者同士で交流し、情報も共有したかった」と三木さん。金田さんは平成時に納めた繪服の残りを披露しながら、「人に見せたのは28年ぶり」などと笑顔で応じ、過激派などの活動が激しく、警備などで苦労した当時の話に花を咲かせた。

時は移り、双方が現在直面しているのは、高齢化など人手の問題だ。美馬市木屋平の人口は560人余りと、合併で同市が誕生した2005年と比べても半分以上となり、6割が65歳以上。前回、巫女(みこ)として、双子の姉と共に糸を紡いだ同市職員原田めぐみさん(47)は「当時の婦人会は老人会になっている。今回は裏方として働いたが、畑の草刈り一つとっても一人ひとりの作業量がすごく多かった」と先行きを不安視する。

豊田市稲武町でも、平成時に中心となって糸を引いた金田さんの妻ちゑのさん(92)が今回指導・監督したのは、60代と70代の女性3人。同町の人口も減っており、現在は2200人余りで、65歳以上が半分を占める。

「次は大学生の孫に託したい」と話す三木さん。一方、金田さんの2人の息子や孫たちは離れた場所で暮らす。いずれにしても、地域を挙げての後継者、体制づくりが喫緊の課題となっている。

大嘗祭、今夜から 首相ら招待、未明まで

時事通信 2019年11月14日11時48分



大嘗祭が行われる大嘗宮＝13日午後、皇居・

東御苑（時事通信ヘリより）

皇位継承に伴う伝統儀式の大嘗祭が14～15日、皇居・東御苑の大嘗宮で皇室行事として行われる。天皇陛下が新穀と酒などを神前に供え、自らも食して国家、国民の安寧と五穀豊穡（ほうじょう）などを祈られる。

大嘗祭を前に14日午前、「大嘗祭当日賢所大御饗（かしこどころおおみけ）供進の儀」が皇居・宮中三殿の賢所で行われた。大嘗祭の挙行を神前に報告する儀式で、天皇陛下に代わって楠本祐一掌典長が拝礼。皇霊殿と神殿でも同様の儀式が行われた。

14日午後6時半から「悠紀（ゆき）殿供饗（きょうせん）の儀」が行われ、天皇陛下が悠紀殿に入り、栃木県で収穫された米、アワの飯と酒などを神前に供えて拝礼し、御告文（おつげぶみ）を読んだ後、自らも飯と酒を口にする。

引き続き、15日午前0時半から「主基（すき）殿供饗の儀」が行われ、京都府産の新穀が供えられる。

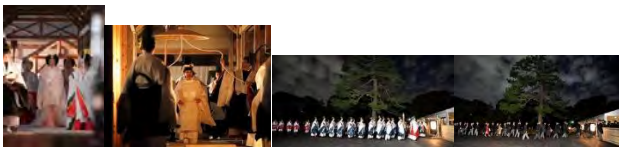
両儀式には皇后さま、秋篠宮ご夫妻ら皇族方が参列。安倍晋三首相ら三権の長や、各界代表など675人が招待されている。

皇居で即位の中核行事「大嘗宮の儀」 510人が参列

朝日新聞デジタル中田絢子、長谷文 2019年11月15日02時12分



「主基殿供饗の儀」のため、大嘗宮（だいじょうきゅう）の帳殿に向かう皇后さま＝2019年11月15日午前0時33分、皇居・東御苑、代表撮影



天皇陛下の即位に伴う皇室行事「大嘗祭（だいじょうさい）」の中核儀式「大嘗宮（だいじょうきゅう）の儀」が14日午後6時半過ぎから、皇居・東御苑に建てられた祭場「大嘗宮」で執り行われた。即位に伴う一連の行事のクライマックスと言える行事で、前半の「悠紀殿（ゆきでん）供饗（きょうせん）の儀」には安倍晋三首相ら三権の長や各地の知事ら510人が参列した。

新たに即位した天皇が、皇祖神とされる天照大神と全ての神々に新穀を供え、自らも食して国家の安寧と五穀豊穡（ほうじょう）を祈る一世一代の儀式だ。大嘗宮は大小30余りの建物からなる祭場で、天皇陛下は東の神殿「悠紀殿」で「悠紀殿供饗の儀」を、西の神殿「主基殿（すきでん）」で「主基殿供饗の儀」を行う。両儀式は同じ内容だ。

午後6時半すぎ、大嘗宮北側の廻立殿（かいりゅうでん）を出発した天皇陛下の行列が、悠紀殿に到着した。薄明かりの中をゆっくりと進む陛下は、最も清浄で神聖とされる白絹の「祭服（さいふく）」姿だった。悠紀殿内部の陛下の様子は外からは見えないが、天皇陛下が神々に新穀などを供えて拝礼。五穀豊穡や国家安寧を祈る内容の御告文を読み上げ、自らもお供え物を食す。後半の「主基殿供饗の儀」は15日午前0時半過ぎに始まった。

宮内庁によると、今回の儀式にかかる費用は総額で約24億4千万円にのぼる見通し。政府は、宗教儀式としての性格があるため国の儀式としなかった一方で、「皇位が世襲であることに伴う極めて重要な皇位継承儀式」であり、憲法で皇位の世襲制をとる以上、国が「挙行を可能にする手立てを講ずることは当然」として公費支出に踏み切った平成の方針を踏襲した。

だが、公費支出をめぐるのは、今も「憲法の政教分離原則に反する」との批判が根強くある。皇嗣の秋篠宮さまは、昨年の記者会見で「公費を支出するべきでない」との考えを表明。以前から宮内庁長官に伝えてきたことも明かしたが、宮内庁を含む政府内でこの方針について改めて議論された形跡はなかった。

一方で宮内庁は経費節減のため、大嘗宮の建設にあたっては、屋根を萱葺（かやぶ）きから板葺（ふ）きに変更したり、一部の建物を組み立て式にしたりするなど一部の仕様や工法を変更。大嘗宮の儀に招く人数の規模を前回の1千人から約670人に縮小した。大嘗宮は21日～12月8日に一般公開され、その後取り壊される。（中田絢子、長谷文）

【悠紀殿（ゆきでん）供饗（きょうせん）の儀の主な内容】

『平成大禮要話』などによる）

- ・神饗（しんせん）（お供え物）を調理する膳屋（かしわや）で、采女（うねめ）と呼ばれる女性らが臼と杵（きね）で、稲をつく所作をする「稻舂（いなつき）の儀」を行う

- ・東日本各地から届いた農林水産物が神々に示す供え物「庭積机代物（にわづみのつくえしろもの）」として並べられる

- ・楽師が古くから大嘗祭（だいじょうさい）で歌われてきた「国栖（くず）の古風（いにしえぶり）」、今回「悠紀地方」とされた

- ・皇后雅子さまが帳殿（ちょうでん）で拝礼する
- ・膳屋から神饌を持った采女らの行列が悠紀殿に着く
- ・天皇陛下が悠紀殿の奥の間、内陣（ないじん）に進み、采女と呼ばれる女性らも悠紀殿内に入る
- ・内陣で天皇陛下が、新穀の米やアワのご飯、海産物や干し柿などを、竹製の箸を使い、カシワの葉の器に乗せて神々に供える。

この所作に約1時間20分はかかる

- ・天皇陛下が拝礼し、五穀豊穰（ほうじょう）や国家安寧を祈る御告文（おつげぶみ）を読み上げる
- ・天皇陛下が米とアワのご飯、これら新穀を用いた酒を口にする
- ・天皇陛下が悠紀殿を退出する

宮内庁などによると、悠紀殿の内陣には陛下が伊勢神宮の方向を向いて座る御座（ぎよざ）、向かい側に天照大神（あまてらすおおみかみ）が座るとされる神座（しんざ）や寝具の寝座（しんざ）がある。靴や徳島県産の麻織物（庵服＝あらたえ）と愛知県産の絹織物（繪服＝にぎたえ）も置かれているという。

平成の大嘗宮の儀で上皇さまに付き従った元宮内庁職員は「脂燭の明かりは隣の人の顔が分かる程度。かがり火がパチパチと燃える音や装束の裾が擦れる音、奏楽くらいしか聞こえなかった」と明かす。葉薦の巻き取り役だった元皇宮警察職員は装束の長い裾を踏まないよう注意し、必死に列に遅れないようにしたという。「暗く厳かで周囲の様子は分からなかった。他の行事と全く違った」と振り返った。

儀式が非公開であることについて、宮内庁の山本信一郎長官は14日の記者会見で「天皇陛下と神々との間で厳粛に行われる儀式で、公開はなじまない」と説明した。【和田武士、稲垣衆史】

即位の秘儀厳かに 大嘗祭、闇夜照らす豊穰の祈り

日経新聞 2019/11/14 19:06 (2019/11/15 1:46 更新)



「悠紀殿供饌の儀」のため、祭服を着て大嘗

宮の悠紀殿に向かう天皇陛下（14日、皇居・東御苑）＝代表撮影
秋の冷気の中、たいまつが天皇陛下の姿をほの白く照らし出した。14日、皇居・東御苑で営まれた宮中祭祀（さいし）の「大嘗祭（だいじょうさい）」。

新築された大嘗宮で儀式に臨んだ陛下は、祭殿の奥深くにこもり、伝統の祈りをささげられた。安倍晋三首相ら参列者も、厳粛な雰囲気を見守った。

中心儀式「大嘗宮の儀」の舞台として建設された大嘗宮の悠紀殿（ゆきでん）と主基殿（すきでん）周辺では、夕闇が訪れるとかがり火がたかれた。樹皮が付いたままの丸太で建てられた殿舎が炎が照らし、まきの燃える香りが漂った。

辺りには、陛下が神前に供える神饌（しんせん）のコメを臼でつく時に産地の地名を入れて歌われるという「稻舂歌（いなつきうた）」の調べが流れ、全国各地から納められた特産の農水産物が供えられた。

午後6時半ごろ、たいまつを手にした侍従に導かれて暗闇の中から姿をみせた陛下は、まっすぐに前を見据えて悠紀殿へと進まれた。純白の祭服の陛下の前後には、鳳凰（ほうおう）が付いた菅蓋（かんがい＝すががさ）を差し掛ける役や、床に薦（こも＝むしろ）を敷く役など、大勢の侍従らが付き従った。

陛下が悠紀殿に入られると帳（とばり）が閉じ、中の様子は外からは一切うかがえない。陛下は1時間半ほどかけて神饌を供え、五穀豊穰（ほうじょう）や国の安寧を祈って、午後9時15分ごろに悠紀殿を出られた。



「悠紀殿供饌の儀」のため、大嘗宮の帳殿

に向かう皇后さま（14日、皇居・東御苑）＝代表撮影

皇后さまは純白の十二単（ひとえ）姿。陛下の後からゆっくりと歩を進め、陛下とは別の殿舎で拝礼された。

宮内庁や皇宮警察の職員も儀式のため、普段の服装から一転、弓を手に帯刀した武官などの古装束を身にまとった。悠紀殿での儀式の後、休憩を挟んで、15日未明からは主基殿でも同じ所作の儀式が執り行われた。

大嘗祭、皇居で営まれる 首相ら510人参列

日経新聞 2019/11/14 18:37 (2019/11/15 0:48 更新)



薄明かりの中、「悠紀殿供饌の儀」のため、

祭服を着て悠紀殿に向かう天皇陛下（14日、皇居・東御苑）＝代表撮影

天皇陛下の即位に伴う代替わりの皇室行事「大嘗祭（だいじょうさい）」の中心となる儀式「大嘗宮の儀」が14日から15日にかけて、皇居・東御苑で営まれた。陛下が神前に新穀などを供え、国の安寧や五穀豊穰（ほうじょう）を即位後初めて祈られる儀式で、秋篠宮ご夫妻ら皇族方のほか、安倍晋三首相をはじめ510人が参列した。

大嘗祭は新たに即位した天皇が一代に一度だけ行う最も重要な宮中祭祀（さいし）とされる。上皇さまによって営まれた1990年11月以来、29年ぶりとなる。

「大嘗宮の儀」は新たに建設された30棟余りの建物からなる「大嘗宮」で行われた。陛下は14日午後6時半すぎから、儀式の前半に当たる「悠紀殿供饌（ゆきでんきょうせん）の儀」に臨み、同9時15分ごろ終えられた。15日午前0時半すぎからは後半の儀式「主基殿（すきでん）供饌の儀」が行われた。

殿内の様子は非公開で、宮内庁によると、陛下はコメやアワ、アワビ、昆布といった「神饌（しんせん）」を供えて御告文（おつげぶみ）を読み上げ、自らも神饌を食して祈られた。皇后さまも別の殿舎で拝礼された。

参列したのは安倍首相ら三権の長や閣僚、各省庁の事務次官ら幹部、都道府県知事、各界の代表者ら。敷地内のテントから儀式を見守った。

大嘗祭は宗教的性格を持つため、政教分離の観点から国事行為ではなく、公的な皇室行事とするとの平成時の考え方が踏襲され、費用は公費の「宮廷費」から支出された。前回は関連経費を含め総額約25億円だった。宮内庁は今回、大嘗宮の規模を2割縮小し、招待者数も約230人減らしたが、建築関連の人件費の高騰などで予算ベースでは27億円超になった。

16日と18日には陛下が参列者に酒や料理を振る舞われる「大饗（だいきょう）の儀」が催される。一連の儀式の終了後、大嘗宮は21日から12月8日まで一般公開され、その後解体される。



「悠紀殿供饌の儀」のため、祭服を着て大嘗

宮の悠紀殿に向かう天皇陛下（14日、皇居・東御苑）＝代表撮影



「悠紀殿供饌の儀」のため、大嘗宮の帳殿

に向かう皇后さま（14日、皇居・東御苑）=代表撮影



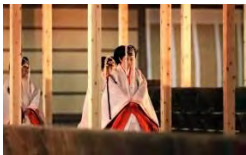
皇位継承儀式「大嘗祭」が行われる大嘗宮

で、帳殿へ向かう皇后さま（14日、皇居・東御苑）=代表撮影



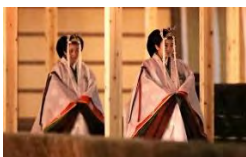
皇位継承儀式「大嘗祭」に、装束姿で臨む

秋篠宮さま（14日、皇居・東御苑）=代表撮影



皇位継承儀式「大嘗祭」に、装束姿で臨む

秋篠宮妃紀子さま（14日、皇居・東御苑）=代表撮影



皇位継承儀式「大嘗祭」に、装束姿で臨む

秋篠宮家の長女眞子さま、次女佳子さま（14日、皇居・東御苑）
=代表撮影



「悠紀殿供饌の儀」が行われている大嘗宮

（14日、皇居・東御苑）=代表撮影



幄舎（あくしゃ）から大嘗祭を見る参列者

（14日、皇居・東御苑）=代表撮影



「悠紀殿供饌の儀」を終え、悠紀殿から退

出する天皇陛下（14日、皇居・東御苑）=代表撮影

大嘗祭の中心儀式、15日未明に終了

日経新聞 2019/11/15 3:25

皇居・東御苑で14日に始まった天皇陛下の即位に伴う皇室行事

「大嘗祭（だいじょうさい）」は、中心儀式の「大嘗宮の儀」が15日午前3時15分ごろ終了した。陛下は神前に新穀を供え、国の安寧と五穀豊穡（ほうじょう）を即位後初めて祈られた。

陛下は今後、16日と18日に参列者を宮殿に招いて料理などを振る舞う「大饗（だいきょう）の儀」を開くほか、皇后さまと11月下旬から12月上旬にかけて伊勢神宮や歴代天皇陵に参拝し、一連の即位関連儀式を終えたことを報告される。

大嘗宮の儀は前半の「悠紀殿供饌（ゆきでんきょうせん）の儀」と、後半の「主基殿（すきでん）供饌の儀」の2部構成で行われた。

宮内庁は大嘗宮の儀に約670人を招待。参列者数は前半が510人、後半は425人だった。

「大嘗宮の儀」終わる 天皇陛下 国と国民の安寧など祈られる

NHK11月15日 3時21分



天皇陛下の即位に伴う「大嘗祭（だいじょうさい）」の中心的な儀式「大嘗宮の儀（だいじょうきゅうのぎ）」が、14日夜から15日未明にかけて皇居で行われ、天皇陛下が、国と国民の安寧や五穀豊穡などを祈られました。

天皇陛下は、14日夜6時半前、皇居 東御苑に設営された「大嘗宮」の奥にある「廻立殿（かゐりゅうでん）」を出て、廊下に姿を見せられました。

暗闇の中、廊下は、火の明かりで照らされ、天皇陛下は、最も格式の高い「御祭服（ごさいふく）」という白い装束に身を包んで、ゆっくりと歩みを進められました。

この際、天皇陛下の前を、歴代天皇に伝わる「三種の神器」のうちの剣と曲玉を携えた侍従が進み、天皇陛下の上には、「御菅蓋（おかんがい）」と呼ばれるかさがかざされました。そして、午後6時半すぎ、天皇陛下が「悠紀殿（ゆきでん）」に入られて、「大嘗宮の儀」の前半にあたる「悠紀殿供饌の儀（きょうせんのぎ）」が始まりました。

一方、皇后さまは、純白の十二単に身を包み、「おすべらかし」と呼ばれる髪型で、ゆっくりと廊下を進まれました。

皇后さまは、「悠紀殿」の脇にある「帳殿（ちょうでん）」に入り、「悠紀殿」に向かって拝礼したあと退出されました。

続いて、皇室の祭祀をつかさどる掌典（しょうてん）が、「警蹕（けいひつ）」と呼ばれる発声を行うと、天皇陛下が入られた「悠紀殿」に、栃木県の「斎田（さいでん）」という田んぼで収穫された米など、供え物の「神饌（しんせん）」が運び込まれました。そして、天皇陛下が、天照大神とすべての神々に「神饌」を供えたあと、拝礼して、日本古来のことばで記した「御告文（おつげぶみ）」を読み上げられました。

このあとお供えの米などをみずからも食べる「直会（なおらい）」が行われ、国と国民の安寧や五穀豊穡などを祈られました。

天皇陛下は、午後9時すぎ、「悠紀殿」から退出されて「悠紀殿供饌の儀」が終わりました。

このあと、15日午前0時半ごろ、天皇陛下は、再び「大嘗宮」の廊下に姿を見せ、今度は「主基殿（すきでん）」で儀式の後半にあたる「主基殿供饌の儀」に臨まれました。

「主基殿」には、京都府の「斎田」で収穫された米などが運び込まれ、天皇陛下は、「悠紀殿」と同様、神々に米などを供えたうえでみずからも食べ、国と国民の安寧や五穀豊穡などを祈られました。

「主基殿」での儀式が終了したのは午前3時15分ごろで、安倍総理大臣など三権の長や閣僚、それに各界の代表など425人が儀式の様子を見守りました。

反対派が大嘗祭への抗議集会 「天皇制要らない」

2019/11/14 21:33 (JST) 11/14 22:06 (JST) updated 共同通信社



大嘗祭への抗議集会に参加する人たち

＝14日夜、東京都千代田区

皇居に近い東京駅の丸の内側にある広場では14日夜、天皇制に反対する市民団体「おわてんねっと」が大嘗祭への抗議集会を開いた。参加者は皇居に向かって「天皇ヤメロ」などと書かれた横断幕を掲げ「天皇制要らない」と訴えた。

同団体によると、約150人が参加。次々にマイクを握り「台風で被災した人が大勢いる。復興半ばなのに多くの税金が大嘗祭に投じられるのはおかしい」などと主張した。

東京都東久留米市のフリー編集者の女性（67）は「生まれながらに高貴な人とそうじゃない人に分けられてしまう天皇制はおかしい。反対する人がいることを知ってほしい」と話した。

大嘗祭「一晩のため税金27億円」 東京駅前で反対集会

朝日新聞デジタル 2019年11月14日19時43分



「大嘗祭反対」

の声を上げる参加者＝東京都千代田区

東京都千代田区のＪＲ東京駅・丸の内駅前広場で14日夜、大嘗祭（だいじょうさい）に反対する集会があった。主催者の男性はマイクを持ち「たった一晩の儀式のために27億円もの税金を使い、巨大な神殿が建てられた」と訴えた。参加者は「インチキ大嘗祭」などと書かれたプラカードを掲げ「大嘗祭反対」「税金返せ」とシュプレヒコールの声を上げた。武蔵野市から来たという女性（37）は「天皇制に反対する人は潜在的にいるのに、声を上げにくい息苦しい状況が生まれている」と語った。

伊吹元議長「画竜点睛を欠いた」 国民祭典の「万歳」連呼に苦言

産経新聞 2019. 11. 14 15:41

自民党の伊吹文明元衆院議長は14日の二階派（志帥会）の会合で、天皇陛下のご即位を祝う9日の「国民祭典」の終盤、「天皇陛下万歳」の掛け声が繰り返されたことについて「画竜点睛（てんせい）を欠いた」と苦言を呈した。「陛下も御門内にお入りになるのを、万歳があまりにも続くのでやや躊躇（ちゅうちう）されたのではないか」とも語った。

皇居前広場で開かれた国民祭典には約3万人が参加し、人気アイドルグループ「嵐」らが奉祝曲を披露した。最後に奉祝国会議員連盟会長の伊吹氏が「万歳三唱」をした後、別の男性の声で「万歳」のアナウンスが会場に何度も流れて話題となった。